

# 教育委員会だより

## 2年目の山北町「0歳から15歳までの一貫教育・保育」は

本町の一貫教育・保育は、「山北町『0歳から15歳までの一貫教育・保育』基本方針」に示された課題や目標を全ての園・学校が共有し、一貫して取り組む柱を踏まえながらも、各園・学校ではそれぞれの実態や課題に応じた教育・保育活動を進めていくなど、緩やかに一貫教育・保育の実現をめざしています。

令和4年4月、学校教育課と福祉課（子ども支援班）間の組織改編によって「子ども教育課」が設置され、一貫して教育・保育活動を進めていく体制ができました。園・小・中では、「コロナ禍で失われた異校種間交流を取り戻す第一歩」「互いの顔が見え、気軽に話ができる関係づくり」を合言葉に、山北町の「0歳から15歳までの一貫教育・保育」をスタートさせ、推進役を担う「豊かな学び研究会」の中で出された様々なアイデアを生かし、感染症対策を講じながら子ども同士・教職員同士の交流を年間通じて進めてきました。その様子を、教育委員会だよりで毎回ご紹介してきました。今号では、1年目の主な取り組みや成果と2年目の取り組みの方向をお伝えします。



### 1年目は「基盤づくり」

#### ●「一貫教育・保育」基本方針の共有

全ての園・小・中の教職員が基本方針の共通理解と、めざす子ども像及び取り組みの方向を共有しました。

#### ●異校種間交流の推進

○園では日常の散歩で小学校や中学校を訪問し、校庭で遊びを楽しみました。休み時間にはお兄さんお姉さんと一緒に遊ぶ姿も見られました。

○園・小では、授業や総合的な学習の時間の中で年長児と1年生や5年生、教職員が交流しました。

○小・中では、小学6年生が中学2年生から中学校生活の説明を受けました。また、中学校の先生（英語科・技術科）が小学校を訪問し出前授業をしました。

○町教育研究会授業公開研究会（川村小会場）では、園や中学校の教職員が山北スタンダードカリキュラムに示された視点で授業を参観し、研究協議を通して一貫教育・保育の理解を深めました。

#### ●「地域とともにある園・学校」の基盤づくり

3園運営協議会の設置により、各園・学校が保護者・地域と協働して子どもたちを豊かに育む体制が整いました。運営協議会に支えられ、今後も地域とのつながりを大切に活動を展開していきます。

### 2年目は「カリキュラムづくり」

#### ●5分野のカリキュラム編成に着手

既存の取り組みを生かしながら子どもたちの育ちと学びの一貫性をめざし、基本方針に示された取り組みの重点から次の5分野のカリキュラム編成に着手します。

#### ★アプローチカリキュラム

5歳児教育の後半における小学校進学後を意識したカリキュラム

#### ★スタートカリキュラム

小学校に入学した1年生が、園などの遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮し新しい学校生活を創り出していくためのカリキュラム

#### ★小中接続カリキュラム

中学校に入学した1年生が小学校で培った学びを基礎として、主体的に自己を発揮し新しい学校生活を創り出していくためのカリキュラム

#### ★国際理解教育・外国語教育カリキュラム

#### ★「やまきた学び」カリキュラム

各領域・教科・総合的な学習の時間をベースに、郷土への愛着と誇り、地域での生活への意欲を系統的に育むカリキュラム

#### ★食育カリキュラム

#### ★「山北スタンダードカリキュラム」(コミュニケーション能力)の具体的カリキュラム

## ユネスコ無形文化遺産「山北のお峰入り」記念公演について

昨年11月にユネスコ登録された「山北のお峰入り」は、本年10月8日（日）、6年ぶりに記念公演として開催されることが決定しています。町と保存会で協議を重ね、例年の共和地区神明社での伝承公演、大野山の道行きを行うほか、メイン会場を「川村小学校」とした記念公演や山北駅前商店街にて道行きを行うこととなりました。町では公演開催に向け、保存会・観光協会・連合自治会・県立山北高校など各方面の団体にもご協力をいただき連絡協議会を立ち上げました。

連絡協議会では、町を挙げてイベントを盛り上げられるように協議していきたいと思います。一人でも多くの方に「山北のお峰入り」がどのようなものか知っていただくと嬉しいです。

これから専用サイトの立ち上げやSNSの発信など、PR活動も積極的に行っていきますので是非ご覧ください!!



みそぎ



鹿枝踊り



棒踊り



修行踊り



右上の写真は、岸幼稚園の年長さんが、4月に入園した年少さんたちの登園時のお手伝いをしている様子です。保育園やこども園でも同様に、年長の子どもたちが年下の仲間の様子を気かけ、自分ができる手助けや言葉がけをしている姿が様々な場面で見られます。3園が長く大切に育んできている「異年齢の関わり合い」の発露です。

右下の写真は、1年生の給食配膳の様子です。毎年6年生は自分たちの役割として、1年生が学校生活や給食の準備に慣れるころまで交代で配膳のお手伝いをしています。このようなかかわりを通して、6年生と1年生が昼休みなどを一緒に遊んで過ごす関係もつくられていきます。今年の3月には、1・2年生の担任が3園に出向いて年長さんと歌やゲームを楽しみながら小学校の様子を伝えるなど、年長さんと小学校の関係づくりも丁寧にしてきました。

「大丈夫、私たちがそばにいるよ」とタイトルをつけた、2枚の写真のバックグラウンドにあるお話です。



歴史・文化から学ぶわたしたちの山北 令和5年度版を発刊しました



子ども議会の提案から生まれた、山北町の歴史と文化を分かりやすく解説した小学校高学年用社会科副読本「歴史・文化から学ぶわたしたちの山北」の令和5年度版が、川村小5年生に配付されました。現3・4年生には、次年度以降順次配付されます。

今回の改訂では、山北町の教育委員会日より第79号で紹介した町指定文化財「春日舍利厨子」「不動明王像」をトピックページで取り上げ、子どもたちが初めて出会う仏像の写真を大きく掲載しました。また、河村城・河村新城に係るページを充実させるとともに、子どもたちにとってより読みやすく親しみやすいよう、ページのデザインも工夫しました。

この副読本が、郷土山北に対する子どもたちの理解を深め、関心を高めることに役立つことを願っています。

※右に紹介しているページは、今、山北町で行われている取り組みを最新の情報で伝えています。

副読本は、生涯学習センター図書室と町役場こども教育課にて閲覧していただけます。

行ってみたい、住んでみたい山北町をめざして

山北町は、人口約4,000人の子育てにやさしい町である。町が子育てを応援していることを実感しながら、子育てが楽しくなるといい。そんな町を目指して、山北町は様々な取り組みを行っている。その一つが、子育て支援の取り組みである。子育て支援の取り組みとして、山北町では、子育て支援センター、子育て支援室、子育て支援課などを設けている。また、子育て支援センターでは、子育て支援の取り組みを行っている。子育て支援センターでは、子育て支援の取り組みを行っている。子育て支援センターでは、子育て支援の取り組みを行っている。

その1 空き家見学ツアー

その2 水上地区に緊急住宅

その3 東山北駅周辺の開発

その4 丸山分譲地の開発

子育てに最適な山北の制度

2023年(令和5年)4月掲載

教育委員会の審議事項

令和5年(第3回~第4回・協議会)

○第3回(3月27日)

- ・教育長報告
- ・令和5年度山北町の教育・保育基本方針の策定について
- ・山北町社会教育委員の委嘱について
- ・山北町文化財保護委員の委嘱について
- ・山北町部活動地域移行推進協議会設置要綱の制定について
- ・山北町適応指導教室設置運営要綱の全部を改正する要綱の制定について
- ・山北町英語検定料補助金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について
- ・山北町要保護及び準要保護児童生徒就学援助費認定要綱の一部を改正する要綱の制定について
- ・山北町特別支援教育就学奨励費交付要綱の一部を改正する要綱の制定について
- ・人事評価に関する苦情の取扱いに関する要綱の一部を改正する要綱の制定について
- ・人事評価に関する苦情対応要領の一部を改正する要領の制定について
- ・令和5年度(令和4年度末)県費負担教職員・山北町教育委員会人事異動について

○協議会

- ・社会教育委員会議の研究報告について
- ・令和4年度山北町教育委員会点検・評価報告書(素案)について
- ・令和5年度入園式・入学式について
- ・子ども読書活動の推進について



○第4回(4月24日)

- ・教育長報告
- ・教科用図書採択方針について
- ・山北町学校運営協議会委員の任命について
- 協議会
- ・令和4年度山北町教育委員会点検・評価報告書(素案)について
- ・令和5年度山北町の教育・保育基本方針重点施策について
- ・社会教育委員会議への諮問について
- ・ユネスコ無形文化遺産「山北のお峰入り」連絡協議会について
- ・令和5年度山北町カヌー体験教室について